

とあるAA長編の 紹介記事

マンセーレビュー

AA長編板でFukuro Fantasyを見ていない人は大損をしていると思う
三つの理由について

文責:(・d・)◆eI80oDeCHI

Site: <http://dechi.xrea.jp/>

Twitter: http://twitter.com/_dechi

はじめに

おそらく、現在この本を手に入れている人ならば、いまさら自分があらためて紹介する必要もないと思うのですが、念のために Fukuro Fantasy というAA作品について、まずはざっと概要を紹介しておこうと思います。

「Fukuro Fantasy」とは、2006年3月から2ちゃんねるのAA長編板にて、Λ◆tLHIYOYOBi氏をスレ主として連載が始まったストーリーAAです。

純粋なジャンル分類としてはハイ・ファンタジー——剣と魔法が織り成す空想世界での物語ですが、Fukuro Fantasyは「コテナタ」というもう一つの重要な一面(ジャンル)を持っています(「コテナタ」については後述します)。

主人公は三人。

彼らはそれぞれ同じ世界の別の時代を生きていますが、時にその流れは交わり、お互いに影響を与え、与えられ、物語は複雑に絡みあって進んでいきます。

魅力的なキャラクター達と世界観、練り上げられたストーリー、そしてそれらが美しいAAによって生き生きと描かれている「Fukuro Fantasy」。

この作品を見ておかなければ大損をすると自分が思う三つの理由をこれから説明していきたいと思います。

第一の理由:コテキャラ、その魅力と可能性

AA長編板での作品における登場人物は、モナー、ギコ、モラー、しいといった、いわゆる三頭身モナギコ系AAキャラで占められることがほとんどです。

しかし、Fukuro Fantasyは基本的に登場人物にそれら一般的なAAキャラではなく、「コテキャラ」を使っているのが大きな特徴です。

(以下略)

第二の理由:独特でオリジナリティの高い世界観とストーリー

文頭でも書きましたが、Fukuro Fantasyはハイ・ファンタジーな世界観を基本とし、そこにAA板やコテナンの身に実際に起こった様々なエピソードをパロディ要素として盛り込んであります。

元々、長編板ではファンタジー系作品というのは多い傾向があるのですが、Fukuro Fantasyは上記のパロディ要素を上手く取り込み、作りこまれた世界観は大変に重厚で無理の無い物になっています。

(以下略)

第三の理由:オヨビンのAA技術は世界いちいい!!!

因みに「オヨビン」とは、Λ◆tLHIYOYOBi氏の愛称です(Λ⇒および⇒オヨビン)。

なので以降は親しみを込めて、オヨビンと呼ばさせていただきます。

この段のサブタイは、わかる人にはわかるであろうパロディなのですが、しかし自分は結構本気でオヨビンのAA技術はヘタすると世界一なのでは?と常々思っています。

(以下略)

これまで色々な理由でFukuro Fantasyを見ていないそのあなた!

ああ、もったいない、もったいない。

再度声を大にして言いますが、あなたは大きな損をしています!

今からでも遅くはありません、保管庫やスレで思う存分この名作AAを堪能してくることを推奨します。